

# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 209

2009年

7～8月号

## 行 事 案 内

### 7月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 7月12日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 手賀沼周辺は夏鳥で賑わっています。湖面に、葦原に、田圃に、そして上空にいろんな鳥を見つけることができます。注意深く観察しましょう。  
解 散 正午  
担 当 北原、佐々木、松田、桑森、小林(寿)、野口(紀)

### 8月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 8月9日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子市役所 午前9時  
案 内 手賀沼の水鳥たちも子育てを終え、渡りの夏鳥も幼鳥が見られる頃、鳥の子育てや成鳥と幼鳥の違いにも注意して見ましょう。水田には秋の渡りのシギチなども入りはじめるでしょう。暑さ対策、水分補給も忘れずに。  
解 散 正午  
担 当 桑森、松田、佐々木、小林(寿)、野口(紀)、北原

### 東京港野鳥公園探鳥会

期 日 8月30日(日) 雨天中止  
集 合 我孫子駅改札口 午前8時  
途乗車の方は、我孫子発 8:10の快速上野行に乗車。  
案 内 ヨシ原と樹林に囲まれた「東淡水池」ではカイツブリ、小鳥などを、「潮入り池」の干潟・淡水泥湿地ではシギ、チドリを、西淡水池・小川・田畑・原っぱ・雑木林の「自然生態園」では、水辺の鳥・林の鳥を楽しみます。ササゴイ、コアジサシ、イワツバメ等の出現に期待します。(参考：干潮 7:35/満潮 16:24)  
入園券は各自購入下さい。65歳未満 300円、65歳以上 150円  
解 散 14時頃、現地解散  
持 物 観察用具、帽子・雨具、弁当(途中の購入も可)。園内はどこでも食事可、飲み物の自販機は受付前広場、ネイチャーセンターにあり。  
交 通 JRで大森駅まで行き、京急バスに乗り換え野鳥公園下車、徒歩5分。  
申 込 不要  
担 当 鈴木、松本  
連絡先 鈴木静治  
Tel/Fax : 04 - 7169 - 4191

## 映 写 会

期 日 7月25日(土) 午後1時30分  
場 所 水の館3階研修室  
解 散 午後4時(予定)  
案 内 会員の撮った写真やビデオを映写して楽しめます。作品を発表する方は7月17日(金)までに、諏訪宛写真の種類、枚数またはビデオの上映時間を連絡してください。写真はスライド、デジタル画像のいずれでも構いません。但し、内容は鳥や動物など自然関連のものとし、一人40枚以内とします。デジタル画像ファイルは下記をお願いします。

メディア：スティックメモリー、CDR

ファイルは一括コピーできるよう発表者名のついたホルダーに収納

ファイル名：番号・題名・撮影場所・日付・拡張子

[例]

01 ムナグロ北新田 070501.jpg(北新田で06/05/01撮影)

番号は映写順番番号(昇順、途中の欠番可)、数字は半角2桁1~9は01~09とする

画像サイズ：800×600ピクセル以内

発表作品は当日持参してください。但し、デジタル画像は開始前にパソコンにインストールしておきますので午後1時までに持参、提出してください。

担 当 諏訪、吉田

連絡先 諏訪哲夫

Tel : 04 - 7188 - 7137

その他 映写会終了後恒例の納涼会(別途案内)があります。そちらも是非ご参加下さい。

## 納 涼 会

期 日 7月25日(土) 午後5時30分  
場 所 「庄や」我孫子駅北口店  
我孫子市我孫子1-1-16  
Tel : 04 - 7185 - 3953  
会 費 男性3,000円 女性2,000円  
案 内 映写会後の懇親、暑気払いの会です。今年の夏は暑いとの予報がでています。大いに飲んで、食べて暑さを吹っ飛ばし、楽しいひとときを過ごしましょう。皆さんふるってご参加ください。  
申 込 北原建郎まで  
Tel : 04 - 7183 - 4683  
担 当 北原、染谷

## ホテルの夕べ

期 日 8月2日(日) 雨天中止  
集 合 東我孫子駅前 午後7時  
持 参 懐中電灯、虫除け対策  
解 散 午後8時を目安。東我孫子駅前  
案 内 恒例の岡発戸・都部でのホテル鑑賞会です。谷津田は整備されてきて、水辺や湿地の生物も増えてきています。去年はヘイケボタルが100頭以上観察され、今年はそれ以上の幻想的な光を期待したいと思います。  
申 込 不要  
担 当 木村、染谷

## 7月幹事会開催案内

日 時 7月12日(日) 13:30~  
場 所 水の館 3F 研修室  
議 題

JBFの参加内容の検討と担当について  
紙芝居「スズメさんの自然観察」、庭に鳥を呼ぶ(展示方法の検討と担当)、パネル展示の内容、定点探鳥会、船上バードウォッチングについて、その他新企画  
ほーほーどり210号記載記事について  
その他(事務局にご連絡下さい。)

## 行 事 報 告

### 4 月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2009.4.12 9:00～12:00

晴 弱風 気温 18

< 認めた鳥 > カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、ミサゴ、オオタカ、サシバ、キジ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 33 種  
番外 コジュケイ

< 探鳥班 > 諏訪哲夫、肥後邦彦、桑森亮、西昭子、吉田隆行、武藤康之、小林寿美子、間野吉幸、野口隆也、常盤孝義、山口キイ、六角昭男、類地佑子、染谷良子、玉井修一郎、野口紀子、植田啓介、石渡成紀、栗原佑子、岩田孝之、岩田マキエ、北原建郎、飯島博、大久保陸夫、西巻実、田中恒雄、栗田励、澤田冴子、山岸国彦、町田知之、町田抄子、町田尚之、西嶋昭生、榎本右、西城猛、田丸喜昭、天野正臣、天野睦子、松下勝子、柴本三弘、柴本法子、栗原佑子（担当）佐々木隆  
参加者 43 名

< カウント班 > 木村稔、田中功、染谷迪夫  
調査日時 2009.4.12 9:20～12:20

晴 気温 18 北東の風 微風

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	19	12	31
カワウ	22	64	86
コサギ	0	3	3
アオサギ	4	5	9
コブハクチョウ	15	2	17
カルガモ	19	37	56
コガモ	109	60	169
セグロカモメ	1	0	1
バン	3	3	6
オオバン	40	12	52

ユリカモメ	0	2	2
セグロカモメ	0	11	11
合計	232	211	443

< ビオトープ班 > 猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治

全般：桜の花・新葉が交じり、葦・蒲倒れ観察しやすい。31 種もの多種類の鳥が観察出来た。

水田：落水し耕してある（水入れ/田植え準備）

ビオトープ：湿地の植物群落再生実施中、ハシボソガラスの番が巣を作る場所探している様子

通行人：散歩、ウォーキング、ランニング、自転車、犬の散歩等、家族連れを含め多数

### 5 月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2009.5.10 9:00～11:30

晴

5 月の定例探鳥会は例年どおり「第 20 回バードウィーク手賀沼探鳥会」として実施しました。

< 認めた鳥 > カイツブリ、カワウ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、キジ、オオバン、バン、コチドリ、コアジサシ、キジバト、コゲラ、ヒバリ、ショウドウツバメ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、コイカル、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス 計 36 種 番外 カワラバト、バリケン、アヒル

< 探鳥班 > 宮下三禮、類地佑子、村瀬和則、佐々木隆、鈴木静治、大久保陸夫、田中功、田丸喜昭、田丸メリールイス、田中恒雄、猪爪敏夫、諏訪哲夫、吉田隆行、山内雅量、池田日出男、染谷良子、間野吉幸、栗田励、浅

井久、西昭子、澤田冴子、石渡成紀、桑森亮、西嶋昭生、小林寿美子、(担当) 染谷迪夫  
参加者 26 名

< カウント班 > 木村稔、染谷迪夫  
調査日時 2009.5.12 9:00 ~ 11:55

薄曇 気温 23 東南の風 強 - 微風

調査種	上沼	下沼	合計
カツリ	16	7	23
カムリカツリ	2	0	2
カウ	20	34	54
アマギ	0	7	7
ダ イギ	1	3	4
チュウギ	0	4	4
アオギ	6	4	10
コバク	3	0	3
マガモ	2	0	2
カガモ	13	4	17
コガモ	1	0	1
オハシ	4	3	7
ムナギ	0	15	15
キョウジョギ	0	13	13
イソギ	1	0	1
コアシ	0	21	21
合計	69	115	184

< ピオトープ班 > 猪爪敏夫、川田光男、谷山晴男、鈴木静治

調査日時 2009.5.9 9:10 ~ 11:10  
晴れ、微 - 中位の風、26

全般：ほぼ冬鳥去り、夏鳥来る。葦・蒲・樹木が茂りだし野鳥を観察し難い。ピオトープ近くの沼の葦の中でコバクチョウが抱卵していた

水田：残りの水田で最後の田植え中、ほぼ田植えが終わる。稲苗が青々している

ピオトープ：「湿地の植物群落再生」実施中、水田では多くの児童が親子で、田植中

通行人：天候が良いせいか、ウォーキング、犬の散歩、自転車、ランニングなどの人多数

## 水鳥のサンクチュアリ

田中恒雄

昨年(2008)の11月、市内のある会合で間野会長から我孫子の野鳥観察に関する興味ある話を聞き、この1月に入会した。我孫子に住むようになって40年近くになるが、自宅が子之神神社に近く、幸い周りは比較的緑が多いこともあって以前ほどではないにせよ、今でも庭には多くの野鳥が飛来する。庭の中央に置かれた睡蓮鉢には常連のキジバト、ヒヨドリのほか、時折ツグミやシロハラが水を飲みに来て来る。シジウカラの可憐な姿を見ることもある。しかしこうした野鳥が変哲の無い日常生活の中であまりにも身近なせいか、特別興味を抱くには至らなかった。むしろ社会人になって久しく絶っていた山登りを、50歳代の中頃から趣味として再び楽しむようになって、山鳥にそれとなく関心を持つようになった。山の小鳥は総じて動きが早く、樹木の高いところを飛び交うので、確かな出会いはなかなか難しい。運良く出会っても観察する暇が無い。それでも大岳山山頂でのヤマガラ、根本山山頂付近でのんびり啼いていたツツドリ、笠取小屋近くの枯れ木の頂上で間断なく啼き続けていたカッコウ、北ア種池山荘近くの登山道で砂浴びしていたライチョウ親子、ハイマツの実をついばむホシガラスなど、彼らの姿かたちはいまでも鮮明に脳裡に残っている。

前置きはさておき、今日は本年3度目の県外探鳥会である。井頭公園では初めて見る圧倒的な種類と個体数の水鳥に驚き、感嘆した。北本自然観察公園では会員諸氏の緊張感をそれとなく感じながらヒレンジャクの群れを初めて見ることが出来、貴重な体験をした。

葛西臨海公園は配布された資料によれば都の管理下にあり、平成元年6月の開園である。開園面積4,117,473㎡の内、99.9%を水域が占め、単純計算をすると陸域はわずか2,784㎡である。幸いに好天に恵まれ、参加者22名(名簿による)は10時過ぎにJR京葉線葛西臨海公園駅前を出発し、資料を見ながら初めに東方向に位置する鳥類園へゆっくりと進む。汽水池では観察窓を通して初めて間近にシギを見た。「田中さん、ほらそこですよ。タシギです。」と教えられたもの

葛西臨海公園探鳥会

4月18日

の、体の色合いがあたかも茶の土色に擬似化されているように見え、ようやく双眼鏡の位置が捉えたその姿は美しい羽根模様で覆われていた。シギ類は想像していたよりも小さく見える。カワセミを見たという会員の話を耳にしなが、淡水池から橋を渡って「西なぎさ」と名付けられた島へ向かった。西の方向に遠く望まれる風車が殆んど停止して見え、浜からの風が心地よい。遠く渚に沢山の水鳥が集まっているのが双眼鏡でも良く分かる。フィールドスコープで陽炎の揺らぎを通して捉えられた、長く緩やかに湾曲した嘴の鳥はダイシャクシギだと教えられ、初めて見るその姿は凶鑑その儘で、大変印象的であった。

芝生の広がる場で昼食をとった後、芦ヶ池へ向かう。池の周辺は人気も少なく高い樹木が多く、新緑に映えて美しい。この辺りは広葉樹が多く、大小のバランスが上手に配置されているように思える。ここでみんなの足がはたと止まった。一方向に大きな仰角でレンズを通した視線が一齐に集まる。クスの木であるうか、その高い頂きの辺りで数羽の小鳥の陰がせわしく動いているのが確認できたが、暫くして別種の動きのすばやい小鳥が見え隠れした。前者はメジロで、後者はキマコムシクイであると教えられた。ここでゆっくりした時間を過ごした後、暫く進むと、次第に賑やかになり、香ばしい匂いのするパーベキュー広場の近くで再び会員の足が止まった。茂みの中にコマドリがいるとの情報である。すでに十数人のバードウォッチャー(とカメラマン?)がレンズを構えて待機している。暫くして人の動きがあり、静寂の中にも緊張感が走る。双眼鏡を皆の目指す方向に合わせてゆっくり動かしていくと、一瞬だったが、コマドリらしき黄橙色の鳥が視野を横切り、すぐ消えた。かつて山梨にある大蔵高丸へ登った時に湯ノ沢峠近くで聞いた、馬のいななきに似た軽快な鳴き声を思い出し、その主に初めて会えたような気がした。

駅前恒例の読みあわせを行い、報告された野鳥は50種類プラス猛禽類(タカ)1であった。帰途への電車の中で隣席した会員の方から、「年老いても動く対象を一瞬の中に見極める能力は、永年の勘と経験の積み重ねで得られた知力が補ってくれる。」と教えら

れ、その通りだと思った。個人的には大変に実りの豊かな探鳥会であった。企画していただいた方々にこの場を借りてお礼申し上げます。これからもご教示の程を宜しくお願いいたします。

#### 【幹事報告】

<認めた鳥> カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミコアイサ、バン、オオバン、ミヤコドリ、コチドリ、アオアシシギ、イソシギ、ダイシャクシギ、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、コマドリ、ツグミ、ウグイス、オオヨシキリ、センダイムシクイ、オオルリ、コサメビタキ、シジュウカラ、メジロ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計50種

<参加者> 田中恒雄、吉田隆行、古賀嗣朗、西巻実、諏訪哲夫、桑森亮、佐々木隆、間野吉幸、常盤孝義、田中功、渡邊成、大久保陸夫、宮下三禮、猪爪敏夫、岩田孝之、岩田マキエ、石渡成紀、柴本三弘、柴本法子(担当幹事)野口隆也、松田幸保 参加者21名

---

## 筑波山探鳥会

5月6日

---

### 新緑の山歩きを楽しみました

立川 節子

我孫子野鳥を守る会に会員のまま、長らく欠席していましたが、久しぶりに新緑の筑波山探鳥に参加しました。ゴールデンウィークの最後の休みは、あいにくの曇り空、参加者27人、鳴き声の書かれた紙を頂き7台の車に分乗して、我孫子駅北口を出発、道は混むこともなくスイスイ、筑波山裏手の元ユースホステルの駐車場に車を止め、歩き出しました。

昨夜の雨の為滑りやすい山道、晴れていれば、あちこちから囀りが聞こえるでしょうが、時々耳をすます程度。ニリンソウも晴れるのを待つのかのように、中開きです。山頂では、

元気な人と一寸足弱の人とに別れ歩きました。

鳴き声を聞き分けられない私など、新緑の山歩きを久しぶりに楽しみました。二つの組が山頂で合流。飲み物で身体を暖め下山。車に戻って薬王院へ、古刹というにふさわしい太い幹の木々、きれいに手入れされたお庭を見つつ昼食。昼食途中でザー、雨が降り出し、鳥合わせは釣鐘堂へ集まりました。三重塔も美しく、心字池から蛙の鳴き声が聞こえてきましたが、境内には石碑も多く、由緒あるお寺ですね。石楠花が咲いていましたね

#### 【幹事報告】

<認めた鳥> アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、アオサギ、コサギ、カルガモ、キジ、ムナグロ、キジバト、ツツドリ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、コマドリ、コルリ、ツグミ、ヤブサメ、ウグイス、オオヨシキリ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、キビタキ、エナガ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシボシガラス、ハシブトガラス 計 40 種

番外 コジュケイ、ソウシチョウ

<参加者> 間野吉幸、吉田隆行、田中功、野口紀子、鈴木静治、桑森亮、北原建郎、田中恒雄、中野久夫、田丸喜昭、田丸メリーリス、天野正臣、天野睦子、山口キイ、山口和久、宮下三禮、常磐孝義、玉井修一郎、類地佑子、鳩川堯、中根文世、大久保陸夫、市村偕子、立川節子（幹事担当）染谷迪夫、野口隆也 参加者 26 名

### 筑波山探鳥会に思う

#### 薬王院物語

田丸嘉昭

我が会は、例年ゴールデンウィークの間に、筑波山探鳥会を開催し、下山してから、近くの薬王院の庭で探鳥をしながら昼食をとり、鳥合わせの後、帰路につく。平成 21 年度には 7 台の車に分乗した 27 名が参加。

今年は、薬王院で昼食をとっている間に、雨が降り始めたために、屋根がある鐘楼の中の周囲の台木に集まり、腰掛けて、昼食を済ませた。そうしているうちに、一人のオジイ

サンが近づいてきて、丁寧な言葉で、「鐘を撞かせてもらってもよいですか」と問いかけてきたので、オジイサンが鐘楼の中に入れるように、座っている人が間を空けた。オジイサンは、鐘の下においてある浄財受けの皿に、丁寧に、5 円硬貨を 1 枚置き、鐘に合掌をして、衝き木の綱を三回空で振ってから、今度は強く綱を引き「ゴオーン」と力強く鐘を打った。余韻が続く中で、オジイサンは、再び鐘に向かい合掌し、私たちに、「鐘を撞くことで、心のすがすがしさを頂く」といった。信心深い老人だなと感じた。

浄財受けの中には、沢山の 1 円硬貨と 5 円硬貨が入っていたので、誰かが「一回撞くごとに、1 円か 5 円を納めればよいのか」といったので、私は、「10 円以上の硬貨は、お寺で、定期的に回収しているのでは」と言って笑った。

間もなく、孫娘を連れ、オジイサンがもう一人やってきて、同じように丁寧な言葉で、鐘を撞かせてくださいと、浄財受けのなかに、100 円硬貨二枚を入れて、鐘に合掌し、先の老人と同じように、丁寧に鐘を撞き、余韻の残る鐘に額をつけて、合掌した。この老人は、友人の中で何人か物故した人がいるので、それらの人の安らかさを祈り、自分自身の心の平安を願うと、オジイサンは、孫娘にも、鐘を撞くことを勧めていたが、娘は嫌がって、鐘を撞かなかった。このオジイサンは、この鐘を鋳たのは、真壁町に住む住人で、名工といわれる人が作ったもので、鐘の余韻はとても素晴らしいと話してくれた。

あまり宗教心のない私だが、拝観料を徴収しない神社仏閣で、参拝するか、場所を利用させてもらうときには、それらの維持管理費・利用料ということで、浄財受けには、相応な金額を納めることにしている。今年も、薬王院では、その慣例に従った。何年前に、この薬王院で、浄財をささげた後、フクロウが現れて、そのときの参加者を大いに楽しませてもらったことがあり、私は、「将に、靈驗あらたかなり」と吹聴した。

この何年かの間、我が会のこの行事の参加者の中で、薬王院に浄財をささげる人の数は限られている。公立の公園やその他の施設であれば、維持管理費は税金から支出されるの

であるが、神社仏閣などは、特別な宗教的といつか観光的価値があり、拝観料が十分受取る事ができる施設を除けば、いずれの目的であっても、それらの施設を利用するときには、参拝者あるいは利用者は、何がしかの浄財をささげるのが妥当ではないだろうか。

薬王院のように、毎年、場所を利用させてもらっている場合や、他のケースにおいても、宗教的目的であるかないかに係わらず、参加者一人ひとりに、浄財の提供を促すよりも、そのときの会の幹事が、我孫子野鳥を守る会を代表して、適当な金額を奉納することが理にかなっているのではないだろうかという個人的意見を私は持っている。

---

## 軽井沢・菅平探鳥会

5月23,24日

---

### キビタキのチョトーコイを聞く

山住良子

参加者17名、定刻7時、今井タクシーのバスで、「軽井沢野鳥の森」に向けて我孫子を出発。23,24日は予報ではあまりかんばしくなかったが、当日は晴れ間もみえるまずまずの天気となる。ところが、途中2件の事故渋滞にあい2時間ちかく、のろのろ運転を余儀なくさせられるも、皆様いらつくこともなく、事故なら仕方がないと余裕です。

途中、横川SAに立ち寄りお弁当調達。

「軽井沢野鳥の森」でお昼を済まし12時40分から探鳥開始。赤岩橋から溪流の中、虫を探しながら歩くカワガラスに会い、キセキレイがひなに餌を与える姿に遭遇する。トンボ池近くで“チョチョ ピーツ”とセンダイムシクイの声にどこだ、どこだと探していると、枝から枝へ飛び交わす3,4羽のノジコを見る。

歩く先の小路を横切った大きめの鳥を見て、ヤマドリ！と言う声があがったが、協議の末キジの雌ということになる。

あずま屋近くでキビタキの“チョトーコイ”という声を聞く。「ミソサザイの沢」というネーミングに期待しつつ歩くが、さえずりの声のみに終わった。しかし、しっかり見ましたよと何人かに言われてしまった。クロツグ

ミ、イカル、オオルリ、ヒガラの声を聞き最後に湯川に架かるふくろう橋よりアカゲラを見て、3時30分「野鳥の森」を後にして、当日の宿泊地に向かう。

新緑が美しい山の中の立派な道路を走り、「浅間六里ヶ原休憩所」に立ち寄る。標高1,400mのこの地点から浅間山が目の前に迫っていた。民間会社の保養所「菅平山の家」は、天気良ければ北アルプス・信州の山々の稜線が一望出来るすばらしい所でした。夕食までの少しの間、外に出ると宿の庭にアカハラ2羽が地面で採餌中でした。

翌24日は、5時発で早朝探鳥のためバスで15分の「菅平湿原」に向かう。あいにくの雨のため、皆様しっかり雨支度を整えてのお出まします。早朝探鳥は高い木のとっぺんのホオジロのテリトリー宣言から始まりました。

ヨシや低木の疎林の間の木道を歩くと、オオヨシキリのさえずりが絶えず聞こえてくる。高い木の枝で鳴くオオヨシキリを見ることができた。アオジのさえずりも混じり、コガラ、カワラヒワ、コゲラ、コサメビタキに会い、ヒガラ、エナガが枝々を飛び交うのを見る。木の頂ではモズが鳴き、カッコウの姿をしっかりと見ることが出来た。コムクドリは枯木のとっぺんに木と一体化して、しばし留まっていた。初夏の草原で聞くカッコウの声はすがすがしいが、オオヨシキリの巣に托卵の話の聞くと複雑な気持ちにもなる。

9時、宿を後にして、次の目的地「小根山森林公園」に向かう。途中横川SAでお弁当を購入して10時30分発。

「小根山森林公園」は杉、ケヤキ、カラマツ等林業用の目的で植えられた広大な森林の中、野鳥の森が造られている。裏妙義山が見える見晴し台で昼食をすませる。トビ、ヒガラ、メジロを見る。各々に植栽された年代が付いたブナ、ケヤキ、モミ等の樹の間の小路を歩きながら、スズカケの路近くでツツドリの声聞きイカルの声、アオゲラを確認する。

早朝探鳥の時の雨はいつの間にかすっかり止み、日が差していたが、ポツポツと降り出したと思うと急に激しい雨になる。早々に探鳥を切り上げ13時30分「小根山森林公園」を出て帰路に就きました。

新緑の美しい山間での探鳥はとても楽しい充実した 2 日間でした。いつまでたっても新参者で、皆様に教えられてばかりです。ご親切に感謝します。桑森さん、諏訪さんたいへんお世話になりありがとうございました。

【幹事報告】<認めた鳥>アオサギ、カルガモ、トビ、ノスリ、キジ、キジバト、カッコウ、ツツドリ、ホトトギス、アマツバメ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、カワガラス、ミソサザイ、ノビタキ、クロツグミ、アカハラ、ウグイス、オオヨシキリ、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、コサメビタキ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ノジコ、アオジ、カワラヒワ、イカル、スズメ、コムクドリ、ムクドリ、カケス、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 49 種

<参加者>野口隆也、野口洋子、田中恒雄、鈴木静治、間野吉幸、天野正臣、天野睦子、宮下三禮、北原建郎、大久保睦夫、小林寿美子、中野久夫、古賀嗣朗、立川節子、山住良子、(担当幹事)諏訪哲夫、桑森亮  
参加者 17 名

## 平成 21 年度定期総会報告

平成 21 年 4 月 12 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分 水の館 3F において平成 21 年度定期総会が開催されました。平成 20 年度事業報告および平成 20 年度決算報告、平成 21 年度事業計画案および平成 21 年度予算案について提案説明があり、討議の結果原案どおり可決されました。また、新たに役員が選出されました。

出席者 染谷迪夫、赤尾完、田丸喜昭、間野吉幸、北原建郎、類地佑子、吉田隆行、島崎純造、野口隆也、坂巻宗男、鈴木静治、佐々木隆、小林寿美子、木村稔、肥後邦彦、諏訪哲夫、桑森亮、松田幸保、六角昭

男、首藤佑吉、野口紀子、宮下三禮

## 平成 21 年度役員

会長	間野 吉幸
副会長	小玉 文夫 宮下 三禮
会計監査	大久保睦夫 中野 久夫

## 平成 21 年度事業計画

1. 探鳥会の実施
  - ・ 定例手賀沼探鳥会  
手賀沼をフィールドとして、原則毎月第 2 日曜日に開催します。
  - ・ 遠出探鳥会  
日帰りで近県等へ出かける探鳥会を 8～10 回程度、1 泊 2 日の探鳥会を 3～4 回実施します。
  - ・ 第 20 回バードウィーク手賀沼探鳥会  
「Enjoy 手賀沼！」(同実行委員会主催)のイベントの一つとして実施されます。我孫子市鳥の博物館、(財)山階鳥類研究所と当会の共催です
  - ・ 市民手賀沼探鳥会  
我孫子市環境レンジャー、我孫子市と当会の共催です
2. 野鳥等の調査及び保護等
  - ・ 手賀沼水鳥カウント  
手賀沼で見られる水鳥の種類と個体数を毎月 1 回調査します。1977 年から実施しており、今年が 33 年目になります。
  - ・ データベースの整備  
手賀沼水鳥のカウント及び会員から寄せられた鳥情報によるデータベースの構築を引き続き継続します。
  - ・ 手賀沼ビオトープの鳥類調査  
昨年に引き続き、「手賀沼ビオトープ」の鳥類調査を受託し(11 年継続)毎月 1 回、出現種と個体数のカウント等を行います。
  - ・ 傷病鳥の保護等  
市内外で発見された傷病鳥や幼鳥などを保護・飼育し、快復すれば放鳥し



ます。(県鳥獣保護ボランティアの活動の一環)

### 3. 環境保全活動

- ・クリーン運動に参加  
例年の手賀沼ふれあい清掃に参加するほか、本年度も当会の行事として手賀沼探鳥会の観察ポイント(沼の南岸)を中心にクリーン作戦等を行います。
- ・美しい手賀沼を愛する市民の連合会の活動に参加  
同会の構成団体として、手賀沼の浄化活動等、積極的にその活動に参加します

### 4. 広報活動

- ・会報の発行、配布  
会報「ほーほーどり」を隔月に発行・配布して会員間のコミュニケーションをはかります。又、会報は公共機関、学校、友好団体等に贈呈し、当会のPRと野鳥保護思想の普及に役立てます。(発行部数 300部/回)
- ・当会のホームページをより充実いたします。
- ・メーリンググループの運営を継続して行います。

### 5. 啓発活動

- ・当会の活動を積極的にアピールして行きます。「ジャパンバードフェスティバル2009」等の地元イベントに参加し、パネル展示等により手賀沼の水鳥の現況を市民に広報していきます。又野鳥知識の普及と環境保全をアピールし、当会オリジナルの紙芝居等を活用することにより子供達の啓蒙を計ります。
- ・探鳥会の指導等  
他の団体や学校等から、手賀沼周辺の鳥を観察したいという希望を受けて可能な限りその依頼に応じて探鳥会の指導にあたります。

### 6. その他

- ・映写会・勉強会の開催  
会員が撮影した野鳥や昆虫、植物などの写真、ビデオ等を観賞するとともに、識別や生態等の勉強の機会とします。

## 平成20年度決算および平成21年度予算

(単位 円)

20年度決算 21年度予算

### 収入の部

会費	316,000	300,000
会行事収入	1,234,930	1,500,000
ビ・ホ・プ受託	126,000	126,000
その他の収入	217,212	0
前年度繰越金	369,824	221,718
合計	2,263,966	2,147,718

### 支出の部

野鳥の部	1,260,169	1,570,000
環境保全の部	3,000	10,000
啓発活動の部	235,758	290,000
庶務の部	92,041	117,000
その他費用	151,280	80,000
別途積立金	300,000	0
次期繰越金	221,718	80,718
合計	2,263,966	2,147,718

## 平成21年度下期行事予定

期 日	平成21年度下期行事
10/03(土) 04(日)	伊良子岬タカの渡り探鳥会
10/11(日)	Am 手賀沼定例探鳥会 Pm 手賀沼クリーン作戦
10/18(日)	PmJBF 準備打合せ(幹事)
10/06(金)	JBF 設営
11/07(土) 08(日)	ジャパンバードフェスティバル(JBF)
11/15(日)	手賀沼定例探鳥会、幹事会
11/29(日)	東庄県民の森・江戸崎探鳥会
12/06(日)	手賀沼ふれあい清掃
12/13(日)	手賀沼定例探鳥会
12/20(日)	芋煮会
12/27(日)	涸沼探鳥会
01/03(日)	波崎・北浦探鳥会
01/10(日)	手賀沼定例探鳥会、幹事会
01/17(日)	銚子カモメ探鳥会
01/31(日)	市民手賀沼探鳥会

02/07(日)	井頭公園探鳥会
02/14(日)	手賀沼定例探鳥会
02/20(土) 21(日)	清里・野辺山探鳥会
03/06(土)	市民活動フェア

03/07(日)	
03/14(日)	手賀沼定例探鳥会、幹事会
03/21(日)	北本自然公園探鳥会

## 鳥 だ よ り

- 03.22 [片山新田] ヲマシコ(1) 13:48、雌が  
鳴きながら葦原に飛来 飯泉仁・久美子
- 03.22 [光ヶ丘広池学園] センダ`ムシクイ(1)  
10:35、低木の中で鳴いていた 飯泉仁
- 03.23 [高野山新田] イソヅキ` (3) 干潟で採  
餌 首藤佑吉
- 03.23 [高野山新田] コフト`リ(2) 干潟で採  
餌 首藤佑吉
- 03.24 [北新田] コフト`リ(1) 4号排水路で  
中野久夫
- 03.26 [浅間前] ノソリ(1) 電柱の上に留ま  
る 鈴木静治
- 03.26 [北新田] ノソリ(1) 河川敷柳上  
中野久夫
- 03.27 [北新田] ミサコ` (1) 田んぼ上を低空  
飛翔 中野久夫
- 03.28 [片山] ヲヒ`ヅキ(1) 13:14、林縁を移  
動 飯泉久美子
- 03.28 [岡発戸新田] オヒヅカ(1) 15:09、葦  
原の中で囀っていた 飯泉仁・久美子
- 03.28 [片山新田] サバ` (2) 12:23、ハホ`リ  
ガ`ラに追尾され手賀の丘公園付近の林に  
入る 飯泉仁・久美子
- 03.28 [高野山新田地先] コイカ(1) 親水広  
場遊歩道の柳樹上 桑森亮
- 03.28 [江蔵地] ノソリ(1) 上空を通過  
鈴木静治
- 03.28 [江蔵地] チョウガ`ンホ`ウ(1) 上空を通  
過飛ぶ 鈴木静治
- 03.28 [江蔵地] アトリ(8) 木の枝に留まる  
鈴木静治
- 03.28 [布佐] ヒ` (1) 傾斜林上を飛ぶ  
鈴木静治
- 03.29 [印西市発作] ノソリ(1) 9:50、上空を  
カ`ラに追尾されながら旋回していた  
飯泉仁・久美子
- 03.29 [布瀬新田] ノソリ(1) 16:30、カラス  
に追尾されて上空を旋回していた  
飯泉仁・久美子
- 03.29 [北新田] ヲシヅキ` (1) 4号排水路で  
中野久夫
- 04.01 [北新田] ハヒ`コガ`モ(1) 2号排水路  
で 中野久夫
- 04.05 [高野山新田地先] サバ` (1) 市民農  
園付近手賀沼杭上 桑森亮
- 04.06 [片山] イカ(1) 11:57、林の中を鳴  
きながら移動 飯泉仁・久美子
- 04.06 [布瀬鳥見神社] サバ` (1) 14:26、上  
空を旋回 飯泉仁・久美子
- 04.06 [箕輪新田先手賀沼] ヒ` (1) 14:55、  
水面を移動 飯泉仁・久美子
- 04.06 [箕輪新田先手賀沼] ノソリ(1) 14:55、  
水面を移動 飯泉仁・久美子
- 04.06 [北新田] ハイロ`コウ(1) 、河川敷  
上を飛翔 中野久夫
- 04.06 [久寺家] コフト`リ(2) 金谷水門で  
中野久夫
- 04.08 [光ヶ丘広池学園] アトリ(1) 14:30、  
地面で餌をとり、その後枝に止まり食べて  
いた 飯泉仁・久美子
- 04.11 [片山] ヤマガ`ラ(4) 14:07、囀ってい  
た 飯泉仁・久美子
- 04.11 [片山] オカ(1) 14:53、上空を旋回  
していた 飯泉仁・久美子
- 04.11 [鷺野谷] コフト`リ(1) 15:24、住宅地  
の耕地で鳴きながら移動 飯泉仁・久美子
- 04.11 [大井新田] ヲシヅキ` (1) 飛び立ち  
志賀鉄雄
- 04.11 [布佐] ツミ(1) 棕の木に留まる  
鈴木静治
- 04.12 [大井] サバ` (1) 16:49~17:10、田  
圃の鳥脅しに止まって餌を探していた。そ  
の後、捕獲し地面で足を使って捕食してい  
た 飯泉仁・久美子

- 04.12 [岡発戸新田] アトリ(2) マタコウに留まる  
猪爪敏夫・川田光男・谷山晴男・鈴木静治
- 04.12 [手賀沼滝下広場] アトリ(1) 樹間移動  
桑森亮
- 04.12 [大津ヶ丘1丁目] ツミ(1) 桜の木に止まる  
志賀鉄雄
- 04.12 [高野山新田] アトリ(10) 樺、棕の木に留まる  
鈴木静治
- 04.12 [我孫子新田地先] イルコドリ(1) 漁業組合前  
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 04.12 [手賀沼] キツバシ(1) 上沼1  
染谷迪夫・木村稔・田中功
- 04.12 [箕輪新田] オセツカ(1) 手賀沼辺の抽水植物の中下層で囀り。時折、囀り飛翔。  
染谷迪夫・斎藤安行・木村稔・田中功
- 04.16 [北新田] チウサキ(28) 代かき田で  
中野久夫
- 04.16 [北新田] ハシカガモ(2) 1、1、2号排水路で  
中野久夫
- 04.16 [北新田] ヒ(1) 物色飛翔  
中野久夫
- 04.16 [北新田] オカカ(2) 4号排水路土手で  
中野久夫
- 04.18 [若白毛] コトドリ(4) 鳴きながら移動  
飯泉仁・久美子
- 04.19 [岡発戸谷津] アトリ(1) 樹間移動  
桑森亮
- 04.19 [泉] サバ(1) 飛翔  
志賀鉄雄
- 04.19 [布瀬] ヒ(2) 飛翔  
志賀鉄雄
- 04.19 [藤ヶ谷] サバ(1) 林で声  
志賀鉄雄
- 04.19 [北新田] オヨシ(1) 休耕畑で囀り  
中野久夫
- 04.22 [平和台] ツミ(2) 棕の木の枝で交尾  
鈴木静治
- 04.23 [発作] アカツカガモ(1) 15:00、雌個体、時折、アアアアと鳴き、田圃を代掻きしていたトラクターの後について移動  
飯泉仁・久美子
- 04.23 [若白毛] ノシリ(1) 頭上飛翔後木の天辺に止まる  
志賀鉄雄
- 04.26 [発作] ハヤブサ(2) 11:54、上空を旋回  
飯泉仁・久美子
- 04.26 [発作] アマツメ(1) 11:54、上空を旋回  
飯泉仁・久美子
- 04.26 [片山] オカ(1) 囀り  
志賀鉄雄
- 04.26 [片山] ヒ(1) 囀り  
志賀鉄雄
- 04.26 [手賀] サバ(1) 林から声  
志賀鉄雄
- 04.26 [布瀬] サバ(1) 木に止まる  
志賀鉄雄
- 04.26 [若白毛] サバ(1) 樹上より飛び立ち  
志賀鉄雄
- 04.27 [片山] センダシ(1) 囀り  
志賀鉄雄
- 04.29 [発作] チョウゲンボウ(1) 12:18~15:41、水田地帯で観察  
飯泉仁・久美子
- 04.29 [発作] ツグミ(2) 12:18~15:41、水田地帯で観察  
飯泉仁・久美子
- 04.30 [岡発戸新田] コアシ(2) 杭に止まる  
首藤佑吉
- 05.01 [北新田] チウ(1) ヨシ原上を物色飛翔  
中野久夫
- 05.04 [手賀] オカ(1) 飛翔  
志賀鉄雄
- 05.04 [手賀沼下沼] コアシ(2) 小魚を捕らえ水面上で口移し給餌  
志賀鉄雄
- 05.04 [布瀬] ヒ(1) 囀り  
志賀鉄雄
- 05.05 [大島田] ヒ(1) 囀り  
志賀鉄雄
- 05.05 [藤ヶ谷] ヒ(1) 囀り  
志賀鉄雄
- 05.05 [古戸] チョウゲンボウ(1) 採餌  
諏訪哲夫
- 05.06 [発作] コアシ(3) 水田上空を旋回  
飯泉仁・久美子
- 05.07 [鷺野谷新田] ヒ(1) 飛翔  
志賀鉄雄
- 05.09 [布瀬] ハヤブサ(1) 小鳥を追う  
志賀鉄雄
- 05.09 [柳戸] サバ(1) 電柱上に  
志賀鉄雄
- 05.09 [柳戸] ヒ(1) 囀り  
志賀鉄雄
- 05.09 [柳戸] オカ(1) 樹上に  
志賀鉄雄
- 05.10 [藤ヶ谷] オカ(1) 声、林の中より  
志賀鉄雄
- 05.10 [高野山新田] ショウトウバ(1) 電線上に暫時止まる  
平岡考・田中功
- 05.11 [東浦部・発作] ウラギ(1) 16:20~17:00、水田で採餌  
飯泉仁・久美子
- 05.12 [布瀬新田] サバ(1) 電柱上に  
志賀鉄雄
- 05.12 [手賀沼] マガモ(2) 上沼2  
染谷迪夫・木村稔
- 05.12 [手賀沼] コガモ(1) 上沼1  
染谷迪夫・木村稔

- 05.12 [手賀沼辺] ｲﾝｼﾞ(1) 上沼1  
染谷迪夫・木村稔
- 05.15 [手賀] 比(1) 飛翔 志賀鉄雄
- 05.20 [金山] 牝(1) 囀り 志賀鉄雄
- 05.20 [若白毛] 牝(1) 鳴きながら飛ぶ  
志賀鉄雄
- 05.20 [北新田] ｶｯｺ(1) 河川敷で鳴き声  
中野久夫
- 05.25 [古戸] 牝(1) 鳴き声が聞こえた  
諏訪哲夫
- 05.26 [中峠利根川ゆうゆう公園] ｺﾖｼｷ  
(1)囀っていた 諏訪哲夫

今回寄せられた鳥の全種名

アオアシシギ、アオサギ、アオジ、アカツクシガモ、アカハラ、アジサシ、アトリ、アマサギ、アマツバメ、イカル、イソシギ、イソヒヨドリ、イワツバメ、ウグイス、ウズラシギ、エナガ、オオジュリン、オオセッカ、オオタカ、オオバン、オオヨシキリ、オオルリ、オナガ、カイツブリ、カケス、カッコウ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キアシシギ、キジ、キジバト、キセキレイ、キビタキ、キョウジョシギ、キンクロハジロ、クサシギ、コアジサシ、コイカル、コガモ、コゲラ、コガラ、コサギ、コチドリ、コブハクチョウ、コヨシキリ、サシバ、シジュウカラ、シメ、ショウドウツバメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、セグロカモメ、セッカ、センダイムシクイ、ダイサギ、タシギ、チュウサギ、チュウシャクシギ、チ

ユウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツバメ、ツミ、トウネン、トビ、ノスリ、ハイイロチュウヒ、ハクセキレイ、ハシビロガモハシブトガラス、ハシボソガラス、ハマシギ、ハヤブサ、バン、ヒバリ、ヒヨドリ、ビンズイ、ベニマシコ、ホオアカ、ホオジロ、ホトトギス、マガモ、ミサゴ、ムクドリ、ムナグロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ルリビタキ 計 94 種  
番外種 アヒル、バリケン、

今回の投稿者の総投稿件数

飯泉久美子	7
飯泉仁	237
飯泉仁・久美子	267
猪爪敏夫・川田光男・谷山晴男・鈴木静治	1
桑森亮	10
首藤佑吉	16
鈴木静治	33
諏訪哲夫	7
染谷迪夫・木村稔・田中功	24
染谷迪夫・木村稔	18
中西栄子	1
中野久夫	71
染谷迪夫・斉藤安行・木村稔・田中功	1
平岡孝	1
志賀鉄雄	123
松田幸保	1
総計	818

会員便り (ab-yacho より)

【手賀沼】

今日、手賀沼でアジサシの飛翔を見ました。アトリやシメもまだ残っていました。

(桑森亮 04/19)

昨日(05/09)、手賀の丘公園「青少年の家」裏の森にキビタキの声を聞きに出かけました。現地に着くとサシバが飛んで来て森に入り、暫くして同じ場所から飛び立ちました。4週間前の定例会の際にサシバ2羽が同じポイントで鳴き飛び交うのを見ましたが、営巢に入っているのかも知れません。キビタキは空振りでしたが、そこで出会った既知のバーダーの話ではあやめ池付近にキビタキが出ているそうです。

(桑森亮 05/10)

【古戸】

今日、裏(古戸)の田圃に出してみました。他には沢山飛来しているムナグロですが古戸の田圃には来ていませんでしたが田植えが終わってやっと古戸の田圃にもやってきました。オ

オヨシキリも鳴きだして裏の田圃も少し賑やかになってきました。( 諏訪哲夫 05/05 )

#### 【印西市発作】

今日、印西市発作地区を回ってみました。ムナグロ、キョウジョシギ、キアシシギを多数見かけました。トウネンは12羽でした。コアシサシの声がして、空を仰ぐと5羽のコアシサシが飛んでいて農道に3羽降り、1羽は、道路の中央で抱卵しているようでした。無事に子育てが出来るよう祈っております。( 中西榮子 05/15 )

9日、私も発作で鳴きながら田んぼの上を飛びまわり、ときどき畦に降りたりしているコアシサシを2羽見ました。田んぼでは餌をとれそうもなく、何しに来たのだらうと思いましたが、営巣場所を探していたのでしょうか。無事子育てが出来るといいですね。

( 中野久夫 05/15 )

オグロシギを求めて発作へ行ったところ、コアシサシの声がしたので見ると、農道で抱卵中の個体が居ました。狭い道の中央なので車に轢かれることはないと思いますが、人や犬に蹴飛ばされるかもしれません。孵化した後が心配ですね。コアシサシの世界は、ずっと住宅難がつきまとっているようです

( 松田幸保 05/17 )

#### 【北新田】

今朝は昨日の強風もおさまってさわやかに晴れあがり、この時期にはめずらしく南西の空に真っ白な富士山が遠望できました。今年のシギ・チの春の渡りも、そろそろ終わりに近づきました。今までに北新田で観察された最多はムナグロ：90(5/13)、キョウジョシギ：14(5/4)、アオアシシギ：11(5/4、5)、キアシシギ：5(5/14、15)、チュウシャクシギ：1(4/29,5/11)でした。( 中野久夫 05/15 )

#### 【八千穂高原】

今年も19、20日八千穂高原に行ってきました。コマドリが八千穂山荘の近くに出ているという情報もあったので楽しみにして行きましたが結局鳴き声だけで姿は見れませんでした。今年はGW後気温が低く、夏鳥達も山荘のある場所より下の方にまだ留まっているということでした。大石川に架かるハケ嶺橋で毎年見れるオオルリも20日にやっと上がってきたという状態でした。山荘の裏の林にはウソ、アカゲラ、カケス、アカハラ、シジュウカラ、キセキレイ、ルリビタキなどが現れました。カッコウ、ツツドリの鳴き声を今年初めて聞きました。八千穂高原はこれからが良さそうです。( 諏訪哲夫 05/22 )

#### 【ホタルブクロ】

今朝、庭の隅でホタルブクロが咲きました。26年前、渡辺義雄初代会長から分けていただいた花です。みなさんのホタルブクロは元気ですか。香取神社で、渡辺会長から頂いたゆで卵や赤飯を食べながら、なごやかに総会や祝賀会をしたこと、境内に巣籠もりしたアオバズクの声など、しきりに思い出されます。昔のことを思い出すのは歳のせいでしょうか。

( 赤尾完 05/25 )

そう言えば、香取神社で総会をやりましたね。あそこのもみじの木の洞穴にホーホードリ(アオバズク)が住んでいて毎年繁殖をやっていました。守る会の会誌「ほーほーどり」はそこからでたものです。ホタルブクロは初代会長からいただいたものなら、私は渡辺会長を知らないです。ホタルブクロもありがたくなりますね。

( 西巻実 05/25 )

#### 【スズメの遊び】

近隣センター「こもれび」からの帰路、目の前でモンシロチョウがスズメに追いかけていました。乗用車がやっとすれちがえる位の狭い舗装道路で両側は民家の塀です。スズメ

に追われる蝶はひらりひらりと体をかわしスズメの攻撃を巧みに避けています。スズメも執拗に追いかけてきます。わずか一坪程度のエリアの中です。私は立止まり見つめました。長く感じましたが、1、2分程と思います。蝶はついに力尽きてぼたりと地面に落ちました。しめたとばかりに急行するスズメ。次の瞬間は蝶の悲劇を予想しました。しかし急行したスズメは蝶の側に降り立つと動かぬ蝶をじっと見つめるだけで嘴を動かしません。そしてふいに飛び立ってしまいました。暫くして元気を回復した蝶も飛び去りました。「動物は遊びを知らない自動機械である」と言ったのはデカルトでしたか。私はこの場面ではスズメが遊んだのだと思いました。そうでなければ蝶がスズメに「私を食べないで」と哀願したのかも。

(首藤佑吉 06/04)

#### 【シジュウカラの子育て】

我が家の小さな庭にもシジュウカラがきますが、毎年近くに巣を作るのか巣立ち雛を連れ挨拶に来ます。先日例年のように、五羽の雛を連れた雌一羽がやってきてピラカンサの枝に止まり朝食が始まりました。親は毛虫を獲ると片足で毛虫を枝に押し付け嘴で毛をむしり、そして裸になった毛虫を今度は渦巻形に巻いて雛の口に入れました。随分と手のかかる給餌を初めて見た私は、人間顔負けの親鳥の努力に感心しました。

(首藤美恵子 06/04)

#### 【ムクドリの宝さがし】

ムクドリが庭にきます。窓ガラス越に見ているとなにかを探す様子で地面を歩き回っています。時々嘴で地面をつつき食べているように見えます。その内、同じところをしつこくつき白い物を地中から引き出しました。それは長さ3cmくらいの長虫でした。ムクドリは地中の虫を探し当てる能力があるのでしょうか。

(首藤美恵子 06/04)

### 身近な野鳥の採餌情報募集

趣旨：JBF「庭に鳥を呼ぶ」のテーマで、毎年「草木の実」の実物を集め展示をしてきましたが、これらの実とはどんな鳥が食べるのかとの質問が多くなされました。これらの疑問に答えるために、1：野鳥の採餌情報を会として収集し、2009年11月のJBFで紹介するとともに、2：当会としての採餌情報の継続的蓄積、3：会員相互の鳥の採餌知識を深めるために、下記の要領で、採餌情報の募集をしますので、積極的に投稿をお願いします。

#### 記

応募方法：[ab-yacho@yahogroups.jp](mailto:ab-yacho@yahogroups.jp)への投稿、タイトルは「採餌情報」とする。

鈴木静治 〒270-1108 我孫子市布佐平和台 2-18-6 Fax：04 - 7169 - 4191

野口隆也 〒277-0005 柏市柏 1001-5 Fax：04 - 7163 - 7898

例会、探鳥会等での手渡し。

投稿様式：鳥便りに使用しています我孫子野鳥を守る会・鳥類観察記録に「採餌内容説明」と「鳥類観察地点範囲内外」の項目を加えた様式とします。写真添付の場合は、画像の大きさ：横幅 600 ピクセル、ファイルの大きさ：100kb 以下、拡張子：jpg で添付ファイルをご利用ください。

その他：採餌情報の対象は身近なものから、国内の遠出探鳥会、個人での市外探鳥会等もかまいません。

問合せ先：野口隆也、鈴木静治

## ホームページ掲載の写真等の投稿案内

当会ホームページ（URL <http://abikoyacho.org/>）では、ホームページの「ギャラリー」と「トピックス」へ掲載する会員の写真、お便りを募集しています。

### 1. 応募の内容

#### 「ギャラリー」

被写体は野鳥及び動植物等の自然物等で、会員が撮影した写真であること。また、会員の制作した絵画、スケッチ、カービング等のデジタル写真も歓迎します。撮影・制作場所は国内、国外を問いません。

#### 「トピックス」

会の行事のスナップ写真、会の行事で撮影した鳥・植物写真等で、会員が撮影した写真であること。また、日常周辺のデジタル写真付き鳥だよりも歓迎です。

### 2. デジタル写真

- 1) 画像の大きさ：横幅 600 ピクセル
- 2) ファイルの大きさ：100kb 以下
- 3) 写真の拡張子：.jpg または .JPG であること。
- 4) ファイル名：題名、撮影地、撮影年月日、撮影者氏名
- 5) メール添付で送る
- 6) コメント（50 字程度）を付けること。

### 4. フィルム写真等はデジタル写真にして下さい。

なお、印画紙のままでも結構です。担当がスキャナーでデジタル化します。

### 5. 記載事項

題名、撮影・制作地、撮影・制作年月日、撮影・制作者名、コメント、連絡先

### 6. 応募先

- 1) メールアドレス；[abikoyacho@yahoo.co.jp](mailto:abikoyacho@yahoo.co.jp)
- 2) 郵送の場合は事務局宛でお送りください。

### 7. 応募締切り：ギャラリーは毎月末、トピックスは常時受け付け。

### 8. 応募点数：ギャラリーは 1 人 3 点程度、トピックスは特に設けません

### 9. 掲載方法

ギャラリーは毎月集まった作品を順次掲載します。応募数が多い場合は一部掲載しない場合もあります。トピックスは随時掲載します。

応募についての詳細はホームページをご覧ください

## 5 月幹事会報告

日 時 5 月 10 日（日） 13:30～16:30

場 所 こもれび 和室

議 題

1. H21 年度下期行事予定 事務局  
事務局より提案があり検討のうえ決定
2. 会報 209 号記載記事について 佐々木 幹事

会報 209 号に記載する記事を検討した。(行事予定、実施行事報告及び感想文、など)

### 3. 身近な野鳥の採餌情報の募集について

鈴木幹事が資料によって提案し、提案の通り大綱決定された。

詳しくは「身近な野鳥の採餌情報募集」をご覧ください

### 4. 報告事項、

間野が美手連の行事について次の通り紹介。

5/31(日)に美手連総会が13:00から開催され、併せて講演会が開催される。

場所:「水の館」3F 研修室

講師:白鳥孝治氏(元千葉県水質研究所長/公害研究所長/環境部技監 等)

演題:手賀沼は宝物 ~みんなで守り育てよう~

7/5(日)美手連理事会の後に定例勉強会(各団体の活動を相互に学習)を開催。

時間:15:00~16:30

場所:「水の館」3F 研修室

発表団体:大堀川の水辺をきれいにする会、大津川をきれいにする会、沼南手賀沼ボランティア会

## Enjoy 手賀沼! 報告

日時 5月10日(日) 9:00~11:30 天候 晴

集合 千葉県親水広場 水の館前

内容 水の館前から高野山の滝下広場までのふれあい道路と遊歩道をバードウォッチング

参加者 一般参加者 63名、山階鳥研 1名、鳥の博物館 2名、当会会員 26名

実施報告 「2009 Enjoy 手賀沼!」は3コーナー、1ステージ、27の催しが開催され、12,000人位参加して大成功でした。山階鳥研、鳥博及び当会の3者共催で実施した第20回バードウィーク手賀沼探鳥会は例年のごとく赤、青、黄、緑、水色、ピンクのりボン分けした6班に分かれて、手賀沼遊道を中心に探鳥をした鳥については「5月手賀沼探鳥会とカウント」をご覧ください。

## 手賀沼学会開催のお知らせ

主催 手賀沼学会

日時 7月4日(土)11時30分~16時00分

会場 中央学院大学 611 教室

総会終了後13時から開催

記念講演『変貌する利根川』利根川水域研究者 鈴木久仁直氏

特別発表『利根川の河川工事の仕事歌』郷土史研究者 芦原修二氏

## ほーほーどり No. 209 (2009年7~8月号)

発行 2009年7月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel:04 7182 3972

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費2,000円(大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料)